

第 11 回女性技術者育成功労賞の表彰者

一般社団法人技術同友会は、女性技術者の活躍を推進・支援するために、女性技術者の育成に顕著な成果を上げた個人(男女を問わず)及び組織の方々の表彰を実施しています。この度、第 11 回女性技術者育成功労賞に多くの応募をいただき、審査委員会において厳正に審査した結果、以下の方々の表彰を決定しました。受賞理由は別紙を参照願います。

女性技術者育成功労賞 個人表彰 (敬称略)

【個人優秀賞】

- ① 有賀千尋 株式会社安藤・間 建築事業本部 執行役員 副本部長
- ② 海野万葉香 株式会社村尾技建 技術部 課長代理
- ③ 岡 敦子 NTTテクノクロス株式会社 代表取締役社長
- ④ 小野陽子 大妻女子大学 データサイエンス学部 教授
- ⑤ 加藤一実 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 フェロー
- ⑥ 梶木洋子 株式会社エイト日本技術開発 技術本部 理事 上席技師長
- ⑦ 川畑晶子 カナデビア株式会社 ピープル&カルチャー本部 人事戦略企画部長
- ⑧ 川村みどり 北海道国立大学機構 北見工業大学 副学長 教授
- ⑨ 河野謙 株式会社ガイアート東北支店 執行役員 支店長
- ⑩ 嶋崎田鶴子 有限会社トッブリバー 取締役会長
- ⑪ 関根綾香 小川工業株式会社 土木事業部工事課 係長
- ⑫ 長橋潤 鉄建建設株式会社 建設技術総合センター 研修センター 所長
- ⑬ 中本有紀 大阪大学基礎工学研究科附属極限科学センター 助教
- ⑭ 望月亜希子 日本電気通信システム株式会社 取締役執行役員
- ⑮ 八木澤裕美 福浜大一建設株式会社 土木部DX推進室
- ⑯ 谷地富美子 株式会社竹中工務店 経営企画室 DE & I 推進部長
- ⑰ 吉田浩美 株式会社日立システムズ 執行役員CIO

【個人奨励賞】

- ① 小倉美鈴 土屋建設株式会社 建設ディレクター 課長
- ② 岩崎理代 大日本ダイヤコンサルタント株式会社 中部支社 係長
- ③ 奥田絹香 株式会社三栄コンサルタント 設計第3部 上級主任
- ④ 加藤智子 株式会社小野中村 建築部 係長
- ⑤ 加藤裕美 株式会社四門 補償コンサルタント事業本部 用地補償部 測量課 主査
- ⑥ 高橋千晶 北都建設工業株式会社 工事部
- ⑦ 熊野康子 日本建築仕上学会 女性ネットワークの会

- ⑧ 齋藤まい 大日本ダイヤコンサルタント株式会社 関東支社
- ⑨ 坂本さつき 樋口土木株式会社 工事部 社員
- ⑩ 志賀彩 株式会社安藤・間 東北支店 土木部原町作業所 所長
- ⑪ 四ノ宮美紀 株式会社西村組 工事部 主任
- ⑫ 鈴鹿美空 株式会社 日本ピーエス 東京支店 R5 国道 18 号上田 BP 神川橋上部 3 外工事
現場代理人
- ⑬ 椿幸絵 株式会社昭建 安全統括部 係長
- ⑭ 中村由季子 金沢大学 疾患モデル総合研究センター 技術専門職員
- ⑮ 西山宏海 株式会社西村組 工事部 係員
- ⑯ 馬場未央 株式会社 東京設計事務所 東京支社 プラニンググループ 上下水道第一チーム
チームリーダー
- ⑰ 福村奈緒 開発技建株式会社 交通計画部 副部長
- ⑱ 本多希望 佐田建設株式会社 土木本部 土木工事課 江戸川新宿新田護岸工事 現場代理人
- ⑲ 山崎まき 株式会社香山組 工事部工事課 係長
- ⑳ 山羽えみな 株式会社山下組 取締役 建築部長

女性技術者育成功労賞 組織表彰 (敬称略)

【組織優秀賞】

表彰組織名	代表者
① 安達建設株式会社	代表取締役 安達正彦
② 大妻中学高等学校	校長 赤塚宏子
③ 株式会社オリエンタルコンサルタンツ 流域管理・保全事業部	副事業部長 岸田こずえ
④ 株式会社香山組	代表取締役社長 香山昌哉
⑤ 昭和女子大学附属 昭和中学校・高等学校	校長 真下峯子
⑥ NPO法人日本女性技術者フォーラム	理事長 行木陽子

【組織奨励賞】

表彰組織名	代表者
① (一社) 建設ディレクター協会	理事長 新井恭子
② 株式会社砂子組	代表取締役 砂子邦弘
③ 飛島建設株式会社 R 4 囲繞堤作業所	所長 市川哲朗
④ 巴山建設株式会社	代表取締役社長 巴山一済
⑤ 西松建設株式会社	代表取締役社長 細川雅一
⑥ 株式会社廣瀬	代表取締役 廣瀬徳男

【別紙】

第 11 回女性技術者育成功労賞 受賞理由

☆個人表彰☆

女性技術者の育成に個人として、どのように貢献してきたのか、以下の5つの視点（単独でも複数でも可）から審査し、特に貢献度が高いと評価した応募案件を「個人優秀賞（17件）」に決定し、次点を「個人奨励賞（20件）」に決定した。

- ①女性技術者のロールモデルとして活躍し、多くの女性技術者に影響を与えた人
・・・仕事や行動、キャリアパスのお手本など
- ②女性技術者が活躍できるような職場環境整備に貢献された人
・・・女性が働きやすい環境、仕組み、ルールづくりなど
- ③社内教育やダイバーシティ推進等によって女性技術者の人材育成支援に貢献された人
・・・トップマネジメントとしての経営、人事等制度づくり運営など
- ④技術系女子学生の次世代キャリア支援に貢献された人
・・・女子学生への技術教育、卒業後の進路指導などの教育支援など
- ⑤初等中等教育支援によって女性技術者の母数拡大に貢献された人
・・・小中高生へのSTEAM教育など

【個人優秀賞】

有賀 千尋（株式会社安藤・間 建築事業本部 執行役員 副本部長）

女性初の執行役員として 設計者を統括し、女性技術者の採用・育成を推進し、教育計画やキャリア支援を通じて働きやすい環境を整備してきた。また 現場勤務・海外勤務・管理職などで活躍され 女性役職者が当然という風潮を醸成した。さらに、日建連「けんせつ小町」委員として建設業で働く女性技術者・技能者のための制度や環境整備に尽力した。

海野 万葉香（株式会社 村尾技建 技術部 課長代理）

女性技術者の採用・育成・定着を推進し 継続的なリクルート活動で女性技術者を増加させた。また、産休・育休・短時間勤務等を経て管理職として 若手女性への OJT やリーダー育成に取り組み、後輩のキャリア継続を支援してきた。さらに、大学での講義や企業説明会を通じて女子学生に技術職の魅力を発信し、理系女子の進路拡大に寄与してきた。

岡 敦子（NTTテクノクロス株式会社 代表取締役社長）

技術系女性社員が少ない状況の中、グループ初の研究所出身の女性取締役としてリーダーシップを発揮し、女性役員比率の大幅増を達成してきた。また、女性役員主導チームやラウンドテーブルの活動を通じて、女性社員のエンパワーメントに尽力した。さらに、社外メンターを活用したメンタリング施策導入など 情報通信業界の女性マネジメント層の拡大に貢献した。

小野 陽子（学校法人 大妻女子大学 データサイエンス学部 教授）

長年、我が国のデータサイエンス教育研究に精力的に取り組み、多くの女性研究者を育成した。また、米スタンフォード大学と連携し、WiDS プロジェクトを日本に導入して 活動の定着に尽力した。さらに、中高生から大学院生まで幅広い層への教育・講演活動や 文科省モデルカリキュラム改定委員の活動など 次世代の女性技術者の育成に

貢献した。

加藤 一実（国立研究開発法人 産業技術総合研究所 フェロー）

長年、専門分野の研究で顕著な業績を上げ、理事として 研究現場におけるダイバーシティ推進に取り組み、女性研究職の採用比率や女性管理職比率を大幅に向上させた。また、全国の大学と連携して研究職志望者を増加させた。さらに、出産・育児の支援制度整備や女性研究者の地位向上と研究環境改善に貢献した。

椛木 洋子（株式会社エイト日本技術開発 技術本部 理事 首席技師長）

長年、橋梁分野の日本を代表する技術者として活躍してきた。後進の女性技術者の育成に注力し、女性技術者と女性管理職の大幅な増加に貢献した。特に職業人としての専門性と仕事への姿勢によって 執行役員や管理職の女性技術者に大きな影響を与えてきた。さらに、委員会・学会活動を通じて 土木・橋梁分野における女性技術者の地位向上に尽力した。

川畑 晶子（カナデビア株式会社 ピープル&カルチャー本部 人事戦略企画部長）

男性中心の職場で技術者のキャリアを積み、企業 DX 推進部長として事業を牽引して、仕事と家庭・育児の両立を図りながら、女性技術者のロールモデルとして活躍した。また、女性の採用・育成に取り組み、女性技術者の大幅増に寄与し、女性の若手技術者の指導や面談を通じたキャリア支援により、多くの女性管理職を輩出した。

川村 みどり（国立大学法人 北海道国立大学機構 北見工業大学 副学長 教授）

長年、工学系教授として活躍し、初の副学長に就任後は 女性研究者数の増加に尽力した。また、ライフイベント期のサポート制度創設の他 懇談会・講演会を通じた意識改革に取り組んだ。さらに、北海道国立大学機構での活動を通じて 研究・教育現場の女性活躍の基盤づくりに貢献した。

河野 謙（株式会社ガイアート 東北支店 執行役員支店長）

四国支店長として女性技術者採用を開始し、大学から初的女性技術者を採用した後、中国支店と東北支店でも 多くの女性技術者を採用し育成した。また、女性の「アートこまちパトロール隊」を立ち上げ 女性現場代理人も誕生させ、全国の女性技術者の採用・育成に貢献した。さらに、出前授業やインターンを通じて高校生・大学生への建設業界進出を後押しした。

嶋崎 田鶴子（有限会社トップリバー 取締役会長）

会社設立以来、長年にわたり IT 活用による業務の効率化を図り、生産性の高い農業経営を実現すると共に 社内の女性活用・人材育成に努めるなど女性技術者のロールモデルとして、また、女性が働きやすい環境の構築に努めてきた。社外においても農林水産省の評価委員や大学関係の調査研究にも協力するなど 産学間の橋渡しにも尽力した。

関根 綾香（小川工業株式会社 土木事業部工事課 係長）

地場ゼネコン業界において数多くの工事を現場代理人や監理技術者として、また、後進の育成や女性の働きやすい環境づくりを通して女性技術者の新卒採用増加につなげるなど 顕著な功績をあげた。さらに、女性目線での現場パトロールを実施し、現場環境の改善や大学等への出張講座、各団体からの取材にも積極的に対応し、若者の建設業へのイメージ向上に向けて尽力した。

長橋 潤（鉄建建設㈱ 建設技術総合センター 研修センター所長）

都市土木工事の豊富な経験を元に初的女性土木技術者の現場配属となり、工事管理資格取得の支援や女性の安全と健康に配慮した勤務体制の整備、さらに女性のワークライフプランを実現しながら、女性技術者が活躍できる場の提供に尽力した。また、女子学生の受入れや現場見学会等も積極的に行い、建設業の魅力とやりがいを発信し、入職者の増加と高い定着率の実現に貢献した。

中本 有紀（大阪大学 基礎工学研究科附属極限科学センター助教）

国内外における研究・技術領域での幅広い経験を元に女性技術者の支援と次世代育成の両面で貢献した。特に全国で初となる理工系分野の女性技術職員ネットワークを立ち上げ、全国規模にまで拡大した。また、女子中高生が研究現場を身近に感じられるよう様々な機会を提供し、女性技術者の母数拡大に大きく寄与した。

望月 亜希子（日本電気通信システム株式会社 取締役執行役員）

長年、ソフトウェアのエンジニアとして女性技術者が少数の中で事業をリードし、また、グループ会社の経営者としても活躍し、後進のロールモデルとして尽力した。さらに、経営者として全社でダイバーシティを推進し、女性技術者の能力発揮にむけ環境づくりに取り組み、グローバル展開に貢献した。

八木澤 裕美（福浜大一建設株式会社 土木部 DX推進室）

前職で培ったパソコンやインフラ環境の知識を活かし、社内のDX推進の中心的存在として活躍した。また、「DX推進アドバイザー」の資格やドローンの国家資格取得にも自ら挑戦し合格するなど、常に自身の成長に向けて努力を重ねてきた。家庭と仕事を両立しこれらに取り組む姿は 専門性の向上のみならず 女性が高度な技術資格を取得し広く貢献することへの良きお手本となっている。

谷地 富美子（株式会社竹中工務店 経営企画室 DE & I 推進部長）

ライフイベントや転勤などの困難を乗り越え、大阪勤務時代は設計部女性活躍推進WGリーダーとして、現在は東京でDE & I 推進部の初代部長としてダイバーシティの推進やアンコンシャス・バイアスの解消などに取り組んで、女性活躍のロールモデルとなっている。さらに、対外的にも建設業界全体への女性活躍支援や講演・外部講師なども率先して対応し、女性技術者の育成に貢献した。

吉田 浩美（株式会社日立システムズ 執行役員 C I O）

出産育児と仕事を両立し、IT部門のエキスパートとして全社グループの新規IT統制や 基幹システム刷新の事業でリーダーとして活躍した。現在、日立グループ初の女性CIOとして活躍する姿は女性技術者のロールモデルとなり、グループ全体で力強く後押しした。さらに、プロセスマイニングの第一人者として社外でも数々の講演会等で活躍するなど、社内外で女性技術者のモチベーションアップに貢献した。

【個人奨励賞】

小倉 美鈴（土屋建設株式会社 建設ディレクター）

女性技術者のロールモデルとして活躍し、後進の女性技術者のお手本となり、さらに働きやすい職場環境の整備や新たな職域の建設ディレクターの開拓などにより貢献した。

岩崎 理代（大日本ダイヤコンサルタント株式会社 中部支社 係長）

女性技術者のロールモデルとして活躍し、後進の女性技術者のお手本となっている。さらに 出前授業などの教育支援によって女性技術者の母数拡大に多大な貢献をした。

奥田 絹香（株式会社三栄コンサルタント 設計第3部 上級主任）

女性技術者のロールモデルとして活躍し、後進の女性技術者のお手本となり、さらに 職場環境整備と人材育成で顕著な成果を挙げ、組織全体のダイバーシティ推進に貢献した。

加藤 智子（株式会社小野中村 建築部 係長）

女性建築技師として 女性技術者のロールモデルになって活躍し、後進の女性技術者のお手本となり、ワークライフバランスを考えた業務姿勢は社内の女性技術者に大きな影響を与えた。

加藤 裕美（株式会社四門 補償コンサルタント事業本部 用地補償部 測量課 主査）

高いスキルを持った女性技術者のロールモデルとして活躍し、後進の女性技術者のお手本となり、若手女性技術者の目標となって大きな影響を与えた。

高橋 千晶（北都建設工業株式会社 工事部）

高いスキルの女性土木技術者のロールモデルとして活躍し、後進の女性技術者のお手本となり、さらに 仕事と子育てを両立させ、社内の全社員の意識改革を根付かせてきた。

熊野 康 子（日本建築仕上学会 女性ネットワークの会）

建築仕上材分野の女性技術者のロールモデルとして活躍し、後進の女性技術者のお手本となり、さらに、日本建築仕上学会女性ネットワークの会を立ち上げ、学会活動を通して女性技術者の母数拡大に貢献した。

齋藤 まい（大日本ダイヤコンサルタント株式会社関東支社）

建設コンサルタンツ協会中部支部女性の会 WG のリーダーとして 女性技術者が活躍できる環境整備に貢献した。さらに、企業の枠を超えた意見交換会開催などによって業界の魅力向上に寄与した。

坂本 さつき（樋口土木株式会社 工事部 社員）

女性技術者のロールモデルとして活躍し、後進の女性技術者のお手本となり、さらに 仕事と子育てを両立させ、女性が長く安心して活躍できる職場づくりに貢献した。

志賀 彩（株式会社安藤・間 東北支店 土木部原町作業所 所長）

女性技術者のロールモデルとして活躍し、後進の女性技術者のお手本となり、さらに 職場環境の整備や 技術系女子学生教育支援によって女性技術者の母数拡大に貢献した。

四ノ宮 美紀（株式会社 西村組 工事部 主任）

高い土木技術を持った女性技術者のロールモデルとして活躍し、後進の女性技術者のお手本となり、さらに、中学生を対象とした職業体験プログラムを運営し地域における女性技術者の育成基盤づくりに貢献した。

鈴鹿 美空（株式会社 日本ピーエス 東京支店 R5 国道 18 号上田 BP 上川橋上部 4 外工事 現場代理人）

橋梁施工において優れた管理能力を持った女性技術者として活躍し、後進の女性技術者のお手本となり、さらに、若手女性技術者が働きやすい職場の環境づくりに貢献した。

椿 幸絵（株式会社昭建 安全統括部 係長）

女性技術者の良きアドバイザーとなり 働きやすい職場環境の構築や滋賀県土木施工管理技士会女性活躍委員会委員長として 女性技術者確保や地位確立などに貢献した。

中村 由希子（国立大学法人金沢大学 疾患モデル総合研究センター 技術専門職員）

研究基盤を支える専門技術者として第一線で活躍し、後進の女性技術者のお手本となり、さらに、職場環境改善に尽力して、働きやすい風土醸成と組織全体の活性化に貢献した。

西山 宏海（株式会社西村組 工事部 係員）

技術力と人間力を兼ね備えた女性技術者として 地域の小中学校の出前授業や現場見学会を行うなど STEAM 教育を実践し、女性技術者の母数拡大に貢献した。

馬場 未央（株式会社 東京設計事務所 東京支社 プラニンググループ 上下水道第一チーム チームリーダー）

高度な技術力を有する設計コンサルタントとして活躍し、後進の女性技術者のお手本となり、さらに、部下の育成とともに職場環境の整備や意識改革 組織文化の改革に貢献した。

福村 奈緒（開発技建株式会社 交通計画部 副部長）

高度な技術力を有する女性技術者として活躍し、後進のお手本となり、さらに、女性技術者の積極的採用や女性管理職登用など、経営方針や意識改革に大きな影響を与えた。

本多 希望（佐田建設株式会社 土木本部 土木工事課 江戸川新宿新田護岸工事 現場代理人）

女性初の工事現場代理人として活躍し、さらに、後輩技術者の指導やメンタリングに積極的に取り組み、技術職における女性の可能性を広げる模範的存在となってきた。

山崎まき（株式会社香山組 工事部工事課 係長）

女性技術者のロールモデルとして活躍し、後進の女性技術者のお手本となり、職場環境の整備や 出前授業による中等教育支援など 女性技術者の母数拡大に尽力した。

山羽 えみな（株式会社山下組取締役 建設部長）

男性社会の建設業で現場監督として活躍し、女性技術者のロールモデルとなり、さらに 性別を問わず働き易い職場環境の整備や 女性技術者に対する認識の改革に貢献した。

☆組織表彰☆

女性技術者の育成に組織として、どのように貢献してきたのか、以下の5つの視点（単独でも複数でも可）から審査し、特に貢献度が高いと評価した応募案件を「組織優秀賞（6件）」に決定し、次点を「組織奨励賞（6件）」に決定した。

①女性技術者の育成に関わる活動の具体的な実績

・・・女性技術者数増、リーダーや女性管理職等上位職種者数増など

②女性技術者の育成を達成するにあたっての困難度

・・・活動の難しさ、新たな取り組み創造など

③企業/組織の文化、経営意識を変革し、女性技術者活躍の基盤を確立

・・・人材育成改革、組織改革、企業文化の変革など

④女性技術者の育成に繋がるような組織内外への波及効果

・・・業界活動、学会活動、講演活動など

⑤女性技術者の育成に関係する活動で特別に考慮すること

・・・教育・研修支援、ボランティア活動推進など

【組織優秀賞】

安達建設株式会社

（代表者：代表取締役 安達正彦）

男女隔たりなく現場技術者を採用し、女性管理職の割合は建設業平均を大きく上回る水準を達成している。また、育児支援や柔軟な働き方の推進により、出産・育児後も現場の主力として活躍する多くの女性技術者を育成した。さらに、近年では女性建設ディレクターを誕生させ、現場と社内業務の連携を効率化し、自治体から女性活躍推進企業・子育て応援企業などの認定を取得した。

大妻中学高等学校

（代表者：校長 赤塚宏子）

創立以来、生徒一人ひとりの可能性を伸ばす教育を重視して、理系分野に関心を持つ女子の育成に注力し、女性研究者や女性技術者の母数拡大に貢献した。また、中学生段階から大学と連携した講座や外部講師の授業・ロールモデルとなる女性研究者との交流を通じて、理数分野の意義を学ばせ、高度な実験・探究活動や論文作成にも取り組んだ。さらに、卒業生研究者の講座やゼミを実施して理系進路への意識を高めた。

株式会社 オリエンタルコンサルタンツ 流域管理・保全事業部

（代表者：副事業部長 岸田こずえ）

建設コンサル業界の中で 女性社員・女性技術者の比率が極めて高い水準を達成した。また、多くの女性管理職を任用して優れた成果を上げた。さらに、育児休業取得率向上等を推進して家庭と仕事を両立させる中、沢山の女性技術者が社外から業務表彰・技術表彰を獲得するなど 高い評価を得た。

株式会社香山組

(代表者：代表取締役社長 香山昌哉)

女性社員の専門性の向上とキャリアパスの構築できる環境の整備を目指し「建設ディレクター制度」を導入し、D X・マネジメント分野での多様なキャリアパスを実現した。また現場事務所における女性の働きやすい職場環境の整備や組織改革、さらには地域・業界団体活動への参画を通して、女性活躍推進への強いコミットメントを示すと共に 業界全体の女性技術者育成にも貢献した。

昭和女子大学附属 昭和中学校高等学校

(代表者：校長 真下峯子)

女子中高生キャリア選択支援を目標に掲げ、理工系育成のニーズにも応えるべく S S コースの設置など 女性技術者活躍の基盤整備に努めた。また、他大学や財団など 組織外との連携にも広く取り組み、S T E M分野で活躍する女性の育成・裾野拡大に注力した。これらにより約半数の高校生が理系科目を選択するなど 学校全体のサイエンスマインドの向上に繋がった。

NPO法人 日本女性技術者フォーラム

(代表者：理事長 行木陽子)

長年にわたり女性技術者の育成と活躍推進を牽引すべく 若手女性技術者を対象とした奨励賞制度や 国際会議・シンポジウムにおける発表機会を創出した。さらに、ロールモデルの提示を通じた次世代の女性技術者の育成など、幅広く活動し顕著な成果を上げた。また、業界・学会との交流や学校・公共機関を通じた中高生への理工系の魅力の発信等に注力し、女性技術者の育成に貢献した。

【組織奨励賞】

一般社団法人 建設ディレクター協会

(代表者：理事長 新井恭子)

「建設ディレクター」という新たな職域を創出し、女性技術者が長く、誇りをもって働き続けられる環境構築に貢献されるとともに、講演活動や出前事業等の実施により理系女子の母数拡大にも貢献した。

株式会社砂子組

(代表者：代表取締役 砂子邦弘)

女性技術者の採用に注力し、ライフイベントを経ても女性がキャリア継続できる職場環境の整備に努めた。また、学会発表や学校への出前授業の実施など 対外的に広く活躍できる場の創出に尽力した。

飛島建設株式会社 R4 囲繞堤作業所 殿

(代表者：R4 囲繞堤作業所 所長 市川哲朗)

D X・I C Tを積極的に導入し、業務の効率化や働き方改革に取り組み、初の女性現場代理人が誕生するなど、多様な女性が活躍する環境を構築した。また見学会の開催等により学生の建設業への入職促進にも尽力した。

巴山建設株式会社

(代表者：代表取締役社長 巴山一済)

女性技術者を積極的に採用すると同時に「ともやま小町」と称する工事現場で働く女性社員の声を迅速に経営者へ届ける仕組みを構築し、女性技術者の増員や労働負荷の軽減を実現するとともに 女性初の管理職が誕生するなど、女性活躍の場を確実に広げた。

西松建設株式会社

(代表者：代表取締役社長 細川雅一)

女性技術者の離職増加やロールモデル不在などの課題を解消すべく 土木・建設の各事業本部に女性技術者委員会

を立ち上げ、女性技術者が十分に能力を発揮し、長く働き続けられる環境づくりを行うとともに 同業他社との交流にも注力するなど、女性の離職防止・定着や全社的なDE & I 推進に尽力した。

株式会社廣瀬

(代表者：代表取締役 廣瀬徳男)

革新的な重機の遠隔操作施工を導入し、そのオペレーターとして女性を積極的に採用・育成した。これにより女性活躍の場が広がり、女性技術者が出産・育児といったライフイベントの中でも安心して長期的に活躍できる職場づくりを実現した。

以上